

令和6年第7回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年7月23日(火) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 15時54分
- 3 開催場所 市役所4階 入札室(大)
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介
委 員 中 川 和 之
委 員 楠 田 初 美
委 員 深 田 英 世
委 員 荒 木 努

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
次長兼教育総務課長	井 上 英 文
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄 一 郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ち あ き
学校再編室(学校再編推進員)	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

- 6 付議事項

議案第25号 令和7年度使用教科用図書の採択について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

議案第 25 号 令和 7 年度使用教科用図書の採択について

(学校教育課長の説明) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 5 項の規定により、北播磨採択地区協議会から令和 7 年度使用教科用図書について別紙のとおり報告がありました。つきましては加西市立学校における令和 7 年度使用教科用図書について別紙のとおり採択したいので、委員会の議決を求めるものです。

採択の経緯、北播磨採択地区協議会で選定された中学校教科用図書の各種目各教科について説明をした。(詳細は別紙)

教育委員の質問と学校教育課長の回答

- ・ 本当にご苦労さまでした。これだけの膨大な資料の中で細かい分析、本を見て子どもたちにとってどの教科書が適しているのかという研究をしていただいた結果だと思います。どの教科書にも長所はあるけれど、多少の弱点というかももう少しこういうところに配慮があったらというところもやはりあると思うのです。今回は中学校です。それぞれの教科の先生方がこの調査結果を見ていただいて、例えば数学や理科なら啓林館の教科書の調査結果を見て、もうちょっとあったらいいのではないかというようなところでは、子どもたちのために別途、教材を準備していただくとか、道徳なども採択の教科書では性的マイノリティーに関する教材が少ないというようなことが書いてありましたので、それを少し入れていただくとかいったような工夫によって、子どもたちや生徒たちが本当にしっかりと学習していけるようになりますので、そうした指導、工夫もしていただきたいなと思います。

採択については何も申し上げることはないです。国の無償制度ですので、本当に子どもたちがこの教科書を十分に使って学習が進むことを願っております。プラス、最近はデジタルの面でも進んできておりますので、それも併せ持ったいい授業ができればと思います。よろしくをお願いします。

9 議決事項

議案第 25 号 令和 7 年度使用教科用図書の採択について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

○総合教育会議 6月25日

形式的にならずに非常に具体的で建設的な内容になりました。

○教育委員辞令交付 6月27日

高橋市長から荒木努さんに辞令交付をしていただきました。

第1回統合中学校開校準備委員会 6月27日

委員さんの人数が多いため会場はコミセン小ホールで実施しております。最初に、統合中学校の新校舎のイメージのビデオを上映させていただいて、とても夢のある映像で参加者も安心された様子でした。学校再編についての詳細は再編室長のほうから報告をいたします。

○まち・ひと・しごと創生本部会議 6月28日

市役所の会議です。いかに子ども、そして若者を増やすかということを主なテーマに話をいたしております。

○社会を明るくする運動 7月2日 アスティアかさい ねひめホール

保護司の方の組織です。コンサートもあって非常に楽しい会でした。

○播磨東教育長会定期総会・播磨東地区教育長会議 7月10日 明石市

教育長会議の主なテーマは不登校支援と部活動の地域移行でした。不登校支援につきましては、播磨東管内ではほぼ全ての中学校で不登校生徒のための居場所を学校に設置しており、加西市でも今年7月に善防中と泉中に校内フリースクールを開設しまして、全中学校に配置できたという状況です。それから、小学校にも不登校支援員を配置しているという状況になっています。部活動の地域移行については、多くは慎重に進めている状況です。加西市は令和10年の中学校統合に合わせて計画をしておりますが、国は令和8年までに地域移行という流れを示しておりますので、可能な部について移行を検討していくということが必要と思っております。その後、勤務時間の適正化等についても意見交換を行っております。

○全国史跡整備市町村協議会（全史協） 7月12日 高砂市

全史協は国の指定史跡を持っている自治体で構成されています。印象的だったのは、高砂市で公民館登録グループが市の歴史PRビデオを毎年1本ずつ作成していて、非常によくできたビデオを上映されていたことです。それで、本市でもそういうことができればと思った次第です。

○教育委員会点検評価 7月12日

点検評価委員会でいただいた意見を反映させたいと思っておりますが、ただ、おおむね達成したものが4段階評価で2というのは、非常に厳しいなという思いも持っておりますので、また今後どうするか検討したいと思っております。

○図書館協議会 7月16日

図書館を活用して市民生活を豊かにするという視点で協議をしていただきました。
図書館の活用については、健康アプリ等の既存の仕組みも活用しながら考えていきたいと思っています。

○子ども子育て会議 7月18日

これは第3期加西市子ども・子育て支援事業計画策定のための会議で、今年度中に作成して令和7年度から実施ということになります。今後の加西市の子育て支援の方向を決める重要な会議ですのでしっかりとやっていきたいと思っています。

教育部長

加西市内の幼保施設の令和6年度未入所予定児童数（見込）について状況を説明し、8月7日に開催する賀茂幼稚園の保護者説明会について報告しました。

学校教育課長

1学期の学校教育活動について報告いたします。

4月8日を始業式としてスタートした令和6年度1学期も、市内全ての小・中・特別支援学校におきまして7月19日をもって終業式を迎えました。4月の定例教育委員会でもお伝えしましたが、今年度当初は臨時講師を確保できず欠員状態のままスタートしましたが、どの学校も工夫を凝らし欠員状況をカバーして何とか無事に1学期を終えることができました。ただ、臨時講師の不足については解消されておらず、連日新しい講師確保に向けて指導主事が電話をかけ回っているところです。

また、学校の様子としましては、日々の授業はもちろん着実にこなしながら、1学期中の行事と言えば中学校の修学旅行やトライやるウィーク、小学5年生の自然学校、特別支援学校の運動会なども、全て無事に意義ある行事として終えることができました。また、教育委員の皆様におかれましては、教育委員の計画訪問で多くの授業を丁寧に見ていただき、また忌憚のないご意見をいただき本当にありがとうございました。2学期にもあと7校が残っておりますが、どうかよろしく願いいたします。

また、今年は例年以上に雨の多い1学期でしたが、例えば他市町が朝早くから大雨警報が出されて臨時休校になっていながら、加西市だけ子どもたちの登校後に警報が出るという珍しい日もありました。先生方や子どもたちは特にその状況に惑わされることなく、ふだんどおりの教育活動が実施できました。また、逆に6月下旬からは連日ニュース等で暑さへの警戒が呼びかけられましたが、幸いといっていいかと思いますが、市内においてそれほど学期中は高温になる日が少なく、体育の授業では若干影響が出ましたが、それほど教育方面や安全面に大きな影響はなく子どもたちも元気に過ごせたようです。夏休みに入り、中学生は部活動のため登校する日が多いですが、引き続き十分に警戒して活動できるよう中学校には指導をしていきたいと思っています。

なお、1学期の報告ではないのですが、9月14日土曜日に加西市民会館に世界的指揮者である西本智実さんを昨年引き続きお招きし、今年度は九会小学校の5、6年生を対象に音楽指導をしていただく予定にしております。午前10時から子どもたちは練習を開始し、お昼を挟んで13時から練習を再開、その後、発表会形式になろうかと思っています。西本智実さんだけではなくイルミナートフィルオーケストラのメンバーの皆さんや北条高校の吹奏楽部にも参加してもらう計画をしておりますので、お時間がございましたら市民会館まで足をお運びいただき、活動の様子を見ていただくと幸いです。

こども未来課長

夏季学童保育の状況を報告させていただきます。

入園申込みを6月3日から14日に行い、その後も随時受付しました。今年度から夏季学童保育期間(7/22~8/31)の料金を15,000円に設定をしております。

通常時と夏季の受入れ児童を合わせて501名の入園決定をしましたが、北条学童では4年生以上で7名、北条東学童2年生以上で11名が保留となっております。

入れなかった方々には、空きのある他の学童をご案内させていただいていますが、他の学童を希望されたのは2名でした。

教育委員の質問とこども未来課長の回答

- ・学童に入れない人というのは、仕方がないのでしょうか。
(こども未来課長の回答) 保育の面積はおおむね1.65平米を確保しなければならないので、定員数を超えて幾らでも受け入れられるというわけではないので、仕方がないということになります。
- ・保留になっている方というのは、先着順で「ちょっと駄目ですよ」ということになるのですか。
(こども未来課長の回答) 保育の必要性で判断させていただいています。基本的には低学年であるほど自宅に独りでいるということを保護者は不安に思われますので、できるだけ低学年から優先的に入れるようにしています。
- ・学童を増やさないといけませんか。
(こども未来課長の回答) 新たな施設を建てるということだけではなく、学校とも協議して使えるスペースの活用を考えていきたいと思っています。
(教育長の回答) 学童のオーバーしているところは、要するにシェアをして、部屋の整備は早急にしていきたいと思っております。ただ、どうしても時間がかかるので、

今年度中に全て整備することは難しいのかなということで、次年度以降に計画的にやっていかないといけないと思っています。

総合教育センター所長

泉中学校内フリースクール「なのは」、善防中学校内フリースクール「のどか」の開室について報告します。

7月1日に泉中学校、7月8日に善防中学校にそれぞれ校内フリースクールを開室。泉中学校フリースクールは「なのは」、善防中学校フリースクールは「のどか」と名づけました。北条中学校の「あおぼ」、加西中学校の「ひなた」に続き、三文字で柔らかい響きの名がいいと校内フリースクール担当が相談して決定しました。現在、数名ずつではありますが通室につながりそうな状況です。少しずつでも不登校生が通室につながるよう支援に努めていきたいと思っています。夏休み中も数日の午前中だけではありませんが、開室をして居場所づくりに努めています。

教育委員の意見

- ・加西市内で中学校長を務められ、今は別の市へ行かれている先生に出会いまして、「不登校が非常に多い。多いクラスになったら1クラス5、6名来ていない」と伺いました。不登校は加西市のみならず、本当に全国的な課題になっている中で、校内にフリースクールをつくるというのには、最初はいろいろな議論がありました。例えば、学校内につくっても、学校に行きにくい子が本当に来てくれるのかということも言われていましたが、学校に行きたいけど行けないというところの垣根を少しでも減らし、そこに行けた場合、次につながっていく可能性もあります。また、相談員の先生にいろいろな悩みを打ち明けて相談に乗ってもらえるというのはとても大事なことです。それが4中に揃ったということで、非常に喜んでます。また2学期以降よろしくお願ひしたいと思っています。

学校再編室長

学校再編室から3点報告します。

1点目は統合中学校の設計に関するワークショップの開催についてです。先日、設計する業者を決定し、八板・内藤設計の共同企業体が基本設計と実施設計を行うことになりました。その設計事務所とともにワークショップを開催します。1回目は7月30日にコミセン小ホールで、中学校の先生方を対象にワークショップを開催します。35名の先生方に参加をしていただく予定です。続いて、第2回目は8月17日に予定をしております。対象は小学校5・6年生と中学生、その保護者で、現在、参加者の募集を行っております。

2点目は中学校の制服メッセ（展示会）についてです。9月5日から7日の3日間、制服メーカー4社に参加いただき展示会を開催します。

3点目は丹波市立山南中学校の視察についてです。8月8日14時から予定しております。設計事務所も参加しますので、教育委員さんもお参加いただければと考えております。

教育委員の質問と回答

- ・山南中学校の見学に行くということですが、この学校はこういうことを押しているからこういうところを見学したいというようなことは何か具体的にありますか。ただ単に行って見に来て「ああ、よかったな」では、少し納得できない面もあると思うので、この視察の目的やこの中学校の売りに出しているこういう点を見学に行くというところはあるのでしょうか。

(教育部長の回答) ここを選んだ理由は、一番近くて一番新しい学校であることです。新しい中学校の考え方が導入されていますので、デザイン、黒板とかプロジェクターなどの備品も、新しい中学校の参考になるのではと考えています。それから、山南中学校はプールを造らず、柏原のプール施設を使用していることもあって、どのようにされているのか興味があります。バスはスクールバスではなく公共交通のバスを利用されています。そういう地域のバスで子どもたちが学校に通っている状況も確認したいと思います。

具体的などころでは、丹波市産木材をふんだんに利用されています。あと、特別教室、例えば理科室には生徒の作品を展示できるスペースが設けられているなど、学校の規模は加西市より小さいですが、いろいろな新しい学校の要素は参考になると思っています。新しい学校には、何かしらのサムシング・ニューがありますので、何か感じ取っていただけたらと思っています。

- ・目的を持って行くのと普通に行くのとでは本当に全然違いますから、せっかく行く限りは充実した見学や視察をしたいと思います。例えば以前、再編のメンバーで公民館を併設している学校に行きました。あれだったら公民館と一緒にしてコミスクをしながら地域一帯でやっていくという目的でした。この学校はこうできたというのがあったので、そういう目的や何か加西の方向性があれば、まあそれは多分、今からだと思うのですが。

(教育部長の回答) まさしく今からデザインしていきますので、そういったいいところを吸収していきたいと思っております。

- ・先生方も何人か見学に参加していただく予定はありますか。

(学校再編室長の回答) 校長先生方にも声かけをしています。校長先生が行けない場合は教頭先生が行かれるなど、何名か行かれる予定になっています。

・旧山南町には和田中と山南中がありまして、この山南中は新しい校舎ですが、旧山南町全部が校区になるということで山南という名前を残されたようですね。そういう校名の決め方というようなことでも参考になる話はいっぱいあると思います。

・ワークショップは後ろから見学することは可能ですか。

(教育部長の回答) はい。可能です。

・設計は決まっているのですか。それとも業者が決まっているのですか。業者が過去にやったものはわかっているのですか。学校は初めてですか。それはどの辺でどこをやっているのですか。

(学校再編室長の回答) 設計の実績があります。八板建築事務所は、横浜市の業者です。内藤設計は、小野市の業者で加西市の建物も設計されています。

・設計は、特色が大体あって、そういう傾向は多分その建物を見たら中の差というものもわかりやすく探せると思うのですが、それがどこかわかっているところがあるのかどうか。そういう情報や実際に使ったところがどうだったかというのはわからないのですか。

(学校再編室長の回答) 八板建築事務所は横浜市の小学校の設計をされています。内藤設計は加西市内の小学校の設計をされていますし、西脇小学校の改修等にも携わっておられます。

・その辺も事前にオープンになっていけばこうした方がいいとか、逆にここが工事するところなるのだなということが事前にわかればいいと思います。

・ワークショップの進め方はどうされるのですか。「はい、これで学校をこう再編して行って、学校をこう建てただけけれど、皆さんはどうしますか。」でスタートするのですか。

(学校再編室長の回答) 進め方は、設計事務所と協議していきます。

・これ保護者からいったら、加西はこういうふうな方向性でこれを目指して学校を造りたいのですが、どんなのがあるのですかという質問が多分出るような気がするのです。多分、荒木委員さんも PTA 会長のときとかいらっしやっただと思うのですが、

各学校の説明会で保護者の意見会の際には、「何を指すのですか」「それを指してどんな学校をこうやるのですか」という意見が一番多かったような気がする
ので、そこは先ほどの賀茂幼稚園の話と少し似てしまうのですが。

(教育部長の回答) 設計をプロポーザルで決めたときに、学校コンセプトとテーマを出していただいています。例えば広くてゆとりのある学校とか、子どもたちが行って学びたくなるような学校とか、地域に開かれた学校とか、幾つかのテーマに沿って事業者から提案をいただいています。その中で一番評価の高い事業者に決定しています。基本的な設計コンセプトやデザインは、事業者に提案してもらっていますが、それと学校の先生の思いや子どもたちの意見などを合わせてよりよいものにしていくことをワークショップでできればいいと思います。

- ・実際に設計が始まれば、その学校の先生は詳細な部分にも参加できるのでしょうか。「いや、ここを本当はこうしてほしい、ああしてほしい」というのが、いつの段階であるのか、例えば管理職だけではなく、ほかの方も入ってそうする機会というのはどこかであるのでしょうか。

(教育部長の回答) 今回のワークショップにはいろいろな教科の担当の先生に入っ
ていただいています。それぞれの専門の立場からご意見をいただくこととなります。
それから、今後においても学校を通じて投げかけていきますので、そういう機会は
常時持ちたいと思います。例えばこういう備品が必要とか、後になるほど具体的な
話があると思いますので、その辺りも随時進めていきたいと思っています。

- ・そういう話を聞いていって少しでも広くてゆとりがあつていいもの、丹波なら丹波産木材を使うとかいうと、どんどん高額になってしまいますよね。一方で、文科省から補助が下りるとしても生徒数に対して大変少額ですから、市の持ち出し予算というのも非常に大事な要素になってきます。言葉は悪いかもかもしれませんが、その辺りは十分落としどころというのでしょうか、いろいろな希望を聞きながらも財政のことも考えながら決めていくというのが必要だと思います。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

- ・市内の各施設の案内と施設のパノラマビューがリンクしていないため、リンクした方がよいのではないか。

(教育部長の回答) 確認させていただき、もし動かせるようでしたら対応します。

- ・熱中症への対応について、夏休みの部活動帰りには、学校として何か指導を特別にしているのでしょうか。要は1年ぐらい前に山形県で部活動帰りの子が一人で帰宅中に亡くなられたということがありました。今、中学校は遠いので、子どもが一人で帰っている途中でそうなってしまったら、どうしようもないという現状にあると思います。部活動帰りはどうするとか、何か事前にこういうことをしていますとか、責任者は誰なのかとか、その辺はどういう感じになっているのでしょうか。

(学校教育課長の回答) 各部の顧問が帰る前にはきちんと健康観察をして、緊急時は保護者に迎えに来てもらうようにと指示しています。これは今までも土曜日や日中の暑いときにそうしているのですが、場合によってはクーラーの効いた教室に入れて、一旦休ませてから帰るという手段を取っている部も実際にあります。でも、まず一番は水分を十分に持って来て、帰る前に給水だけはきちんとして帰るということに徹底させていますので、今のところ危ないことがあったという報告はありません。

- ・山形県の事例では20分おきに休憩を取っていて、2時間半ぐらいで部活を早めに切り上げて帰っていたにもかかわらず、途中で熱中症になってしまったということですが、これはどうしようもないということですか。

(学校教育課長の回答) 今、言われたように小まめに休憩を取ることや、早い時間から開始して暑くなる10時過ぎには終わらせるというのが一番多い対処法かと思います。それでも、先ほど言いましたように帰る前にはきちんと子どもたちの様子を観察して、少しでもしんどい子には無理をさせないというのを徹底しているところです。

- ・では、具体的に例えばクールダウンする時間をこれぐらい取ってくださいとか、まあ今の話だと多分、顧問の方の判断がメインになっていると思うのです。あるいは遠くて帰るのに時間がかかる子、単独で帰る子と複数で帰る子がいると思うのですが、その辺はなかなか難しいとは思いますが、具体的にできる範囲があるのか。あるいは夏休み中だけ携帯を自由に持たせて、要は緊急の場合にだけ使えるように持たすとかしないと、実際の場面を考えると、そうなってしまったときはもう防ぎようがないのかなと思ったのです。携帯を持っていたら連絡ができるけれども、その辺で何か方策はないのか。それはもう難しいという話なのでしょうか。

(教育長の回答) 携帯を持たせるというのは、例えば保護者の要望があれば、今後考えていくことはできると思います。

- ・熱中症の暑さ指数は実際に各校の方が測っていることなのですか。

(学校教育課長の回答) そうです。

- ・暑さ指数の数字が超えたときは必ずやめているのですか。
 (学校教育課長の回答) 31 を超えるときはそうです。今日は超えそうかなというときは、さっきも言いましたように小まめに時間を区切って休ませたり、休みの時間を必ず取ったりしながら工夫してみんなやっています。
- ・四、五年前に連合 PTA 中学会長や校長先生と何かのときに言われたのですが、熱中症対策のガイドラインを作っていたらよかったですか。あれは活用されているのですか。
 (学校教育課長の回答) はい、作っています。それは校長会でも周知をしていますので活用しています。
- ・それが今おっしゃったような対策ですか。
 (学校教育課長の回答) 主には熱中症になったときどうしましょうではなく、なる以前の指導の段階ごとに重点を置いています。例えば、その日は小まめに水分を取りましょう、休み時間を取りましょう、帰る時には気をつけましょうとよく言われますが、一番大事なのは前日にきちんと寝ましょう、ご飯を食べましょう、お風呂に入りましょうといったことで、そういう指導がきちんと成り立った上で対策として当日はこういうふうにしましょうという流れで作っているガイドラインです。
- ・私が言いたかったのは、顧問の方にはかなり負担があるということと、難しいかとは思いますが、できる限り何か具体的なものがあればまだやりやすいのかなということです。もちろんその場で判断することばかりだと思うのですが、その辺もガイドライン自体がどうしてもそうなるから仕方がないのかなと思います。
- ・今は小学校や中学校の先生が、登下校のときずっと子どもさんを見守っていらっしゃるのですよね。
 (教育長の回答) されてはいるのですが、教育委員会として(勤務時間外に)先生にそれをやってくださいというのは言えないです。
- ・いや「してください」と言っているわけではなくて、そこまでされているので大変な時代になったなと私は思うのです。でも、子どもの帰りまで責任は持てないですし、学校の先生にそこまで押しつけるわけにもいきません。あとは、本当に親御さんも気をつけないといけないし、本人にも言って聞かせないといけないという本当に大変な時代になったなと思います。
 (教育長の回答) 今言ったように熱中症は怖いですし注意しないとダメです。ただ、

難しいのはこのガイドラインで、例えばここで水を飲ませておいたからもういいのかといえば、そんな簡単にはなかなかいかないところもあります。また、特に寝不足だったら昼間の体調は悪くなりますよね。そういうこともすごく影響するので、単に例えば何時間以上連続して活動したらいけないということだけではないので、それはもう生活の中なのでなかなか一律に見るとするのは難しいと思うのです。

だから、学校と保護者が情報共有をよくするべきだと思います。例えば最近少し夜に寝られていないようだから注意して見てほしいとかいうようなことは、言っていただくべきだと思うのです。ふだんから連絡を密にしておくことが大事だと思います。

- ・携帯の所持はその期間は普通にできるのですか。
(学校教育課長の回答) いや、所持はさせてはいません。事情のある子だけは持てるようにはしていると思います。
- ・例えば夏休み期間中の熱中症が起りやすいときだけでも、別の申請で使用許可を取ることはできるものですか。今はいわゆる通常の申請の話ですが、それとは別で、それぐらい連絡手段は大切だと思ったので、今お話しさせていただいています。
(教育長の回答) それについてはどうするか今後考えたほうがいいかもしれませんね。
- ・多分、年々暑くなっていくと思います。去年よりも今年のほうが暑いし、来週の天気予報を見てもう 36 度以上になっています。これが五、六年後になったらいよいよ 40 度に行くかもしれません。本当に気候変動はおかしいですから。
- ・こども園における使用済みおむつの処分はどうになりましたか。
(教育総務課長の回答) 現在、委託業務を発注しており、9月から開始する予定です。

1 3 今後の予定について

- ・令和6年第8回定例教育委員会 8月20日(火) 14:00～1階多目的ホール
- ・令和6年第9回定例教育委員会 9月18日(水) 14:00～1階多目的ホール

1 4 その他

なし

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和6年7月23日

出席者

(出席者署名)